

合い言葉 「愛共に」「夢大きく」

志比内広場

令和2年10月22日発行 東神楽町立志比内小学校・志比内公民館 第7号

『時代の変化とともに』

校長 原 田 康

すっかり秋が深まり、校舎周りの桜がみごとに紅葉しております。もう冬の足音が聞こえてくるような時期となりました。先日17日に、これまでの学芸会を大きく改変した「志比内っ子発表会」を実施させていただきました。地域の皆様やご来賓を招かず、家族・関係者のみの観覧でしたが、子どもたちは個性やオリジナリティ溢れる発表を自信をもって披露する事が出来ました。コロナ禍の現状の中で何とか工夫をして開催でき本当に良かったです。今後も十分にコロナ感染防止策を施しながら、学校行事を進めて行きたいと考えております。ご理解ご支援をよろしくお願いいたします。



さて、突然ですが、みなさんは『鬼滅の刃』というコミック（アニメ）をご存じですか？今、小学生から大人まで世代を問わずブームと言えるほど大人気を博しています。内容的には残虐な場面があったり、「死」「殺す」が繰り返し使われるなど不健全な印象もあるのですが、とにかく引き込まれてしまうストーリーなのです。心に訴えてくるものがあります。

物語は冒頭から、母と弟妹が鬼に殺されてしまうところから始まります。助かった妹（ねずこ）は鬼の血を受け鬼になってしまいました。妹を助け仇を討つため主人公の炭治郎の闘いが始まる、という物語です。私が無性に惹かれるのは、この物語の随所に表現される「せつなさ」が胸を打つからです。その「せつなさ」を際立たせるのが炭次郎の溢れんばかりの家族愛であり兄妹愛なのです。極悪非道に描かれる鬼でさえ、絶命の間際には人間だった頃の思い出や記憶が蘇り、悪の死をも「せつなく」表現しています。単純な勧善懲悪の展開ではなく、人の生死と運命を正面から描き、生きていくことの悲哀を投げかけています。



これからコロナ後の社会はどうなっていくのでしょうか？誰にも明確な答えは分からないと思います。更には、今ある仕事の6割以上は無くなりロボットがこなすようになる？ AI の進化により機械の判断で人間は物事を決めるようになる？それを人間社会の発展と言うべきなのでしょうか？本当にどうなっていくのか分からないことばかりです。

ただ一つ言えることは、人により感じ方は違うにしても「せつなさ」「優しさ」「家族愛・兄妹愛」「頑張る心」炭治郎が表している事を人間だからこそ感じられるのです。AI ロボットに鬼滅の刃の良さは分からないはず！

志比内っ子発表会

例年は、地域の方にもご案内し開催していましたが、『学芸会』ですが、今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、『志比内っ子発表会』と内容を変えて、10月17日（土）に実施しました。

教育大学と一緒にしていた発表や近くで大きな声を出さなければならない劇は行いませんでした。そのため、音楽が中心の発表となりましたが、子どもたちは一生懸命に練習の成果を発表してくれました。

志比内小学校は、地域の方に協力していただきながら、運動会や学芸会を行ってきました。地域の方がいない発表会は、とても寂しく感じました。来年は、ぜひ見ていただける世の中になってほしいと強く感じました。



今年度は、地域の方に見ていただけなかったのが、発表会のDVDを貸し出すことにしました。

ご覧になりたい方は、学校までご連絡ください。

資源回収にご協力いただきありがとうございました。

長い間、地域の皆様にご協力いただきながら実施していました春・秋の資源回収ですが、今年度で、終了することになりました。

今まで、ご協力いただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。



秋の資源回収 では、620kg回収でき、2,380円の収益がありました。ご協力いただきありがとうございました。



- 11月 2日（月）全校朝会
- 11月 4日（水）～6日（金）山村留学面談
- 11月 9日（月）クラブ
- 11月11日（水）宿泊研修（1日目）
- 11月12日（木）宿泊研修（2日目）
- 11月13日（金）宿泊研修回復日
- 11月16日（月）児童会

『餅つき集会』中止のお知らせ

例年、地域の皆様にご協力いただき実施していましたが、『餅つき集会』ですが、ソーシャルディスタンスを保つことが難しいことから、今年度は中止することといたしました。

ご理解の程よろしくお願ひいたします。